環境を創造する Potential of Concrete KCON

ケイコン株式会社
事業所一覧

https://www.kcon.co.jp

東日本支店

東京営業所	〒101-0033　東京都千代田区神田岩本町15番地1 CYK神田岩本町11F TEL 03-5297-3071　FAX 03-5297-3072
仙台営業所	〒980-0021　宮城県仙台市青葉区中央2丁目2番10号 仙都会舘ビル6F TEL 022-217-8252　FAX 022-261-0207
北関東営業所	〒370-0046　群馬県高崎市江木町1510-1 シロタビル203号 TEL 027-324-5197　FAX 027-324-5198
信越営業所	〒380-0921　長野県長野市大字栗田2274番地 ゆたかビル203号 TEL 026-291-7180　FAX 026-225-5539

中部支店

中部営業所	〒451-0052　愛知県名古屋市西区栄生2丁目4-5 ダルマヤビル2F TEL 052-589-2081　FAX 052-589-2083
静岡営業所	〒420-0851　静岡県静岡市葵区黒金町20-1 富士火災静岡ビル2F B室 TEL 054-253-8100　FAX 054-253-8108
三重営業所 （三重工場）	〒518-0121　三重県伊賀市上之庄46番地1 TEL 0595-21-4726　FAX 0595-24-2019

関西本店

京都営業所	〒613-0914　京都府京都市伏見区淀生津町16番地 TEL 075-631-3161　FAX 075-631-5803
奈良営業所	〒630-8453　奈良県奈良市西九条町2丁目4-10 ウエルズ西九条106号室 TEL 0742-63-6566　FAX 0742-63-6568
大阪営業所	〒534-0025　大阪府大阪市都島区片町2丁目2番48号 JEI京橋ビル2F TEL 06-6355-0505　FAX 06-6355-0507
和歌山営業所	〒640-8343　和歌山県和歌山市吉田386 和歌山プラザビル404号室 TEL 073-436-2030　FAX 073-436-2031
滋賀営業所	〒520-3113　滋賀県湖南市石部北3丁目2番14号 TEL 0748-77-3126　FAX 0748-77-3192
神戸営業所	〒650-0034　兵庫県神戸市中央区京町71番地 山本ビル5F 52号 TEL 078-571-1177　FAX 078-571-1099
京都工場	〒613-0914　京都府京都市伏見区淀生津町16番地 TEL 075-633-5900　FAX 075-632-6588
建築ＰＣ工場	〒613-0914　京都府京都市伏見区淀生津町16番地 TEL 075-633-5900　FAX 075-632-6588
山陽工場	〒675-2103　兵庫県加西市鶉野町2225番地 TEL 0790-49-2121　FAX 0790-49-2484

西日本支店

福岡営業所	〒812-0015　福岡県福岡市博多区山王1丁目10番11号 フェイズイン山王公園前208号 TEL 092-471-1784　FAX 092-471-1709
広島営業所	〒730-0051　広島県広島市中区大手町2丁目8番1号 大手町スクエア 2F A TEL 082-245-1525　FAX 082-245-1526
四国営業所	〒760-0023　香川県高松市寿町1-1-8 日本生命高松駅前ビル10F TEL 087-851-1840　FAX 087-804-5628
沖縄営業所	〒900-0015　沖縄県那覇市久茂地3丁目21番1号 國場ビルディング2F TEL 098-864-0885　FAX 098-864-0905

PCa技術提案部	〒534-0025　大阪府大阪市都島区片町2丁目2番48号 JEI京橋ビル2F TEL 06-6355-0506　FAX 06-6355-0507
高速道路部	〒613-0903　京都府京都市伏見区淀本町225番地 TEL 075-631-8826　FAX 075-632-2552
本社	〒613-0903　京都府京都市伏見区淀本町225番地 TEL 075-631-3231　FAX 075-631-9588

2305-500

安全で快適な暮らしの基礎を築く

ハイ・タッチウォール（耐震型）

国都防第１７号（2020年2月21日）　宅地造成等規制法施行令第14条 国土交通大臣認定

NET ZERO 2035

ケイコンは脱炭素化に向けて、2035年までに
温室効果ガスのサプライチェーン排出量を
実質ゼロにする「a NET ZEROイニシアティブ」を
推進していきます。

マモリート
MAMORETE
Sustainable PCa

MAMORETEは、ケイコンが開発、
もしくは社外から導入する
優れたコンクリート技術によって
低炭素化、脱炭素化に貢献する
プレキャスト製品の総称です。

環境を創造する Potential of Concrete KCON

安全で快適な暮らしを築く

ハイ・タッチウォール（耐震型）

ハイ・タッチウォールは、コンクリート二次製品であることによる「品質と信頼」、迅速な工事が行える「施工性」、これらによる宅地供給への「スピード」、そして宅地所有者に「安心」を提供できるものです。
高さ3ｍ以下の宅地擁壁は、日本各地のプレキャスト製品メーカーが、地元の個性と産業振興に応じて個別に国土交通大臣認定擁壁を製造販売しています。
高さ3ｍを超える宅地擁壁は、全国統一規格とし、利用者の使いやすさ、統一され安定した品質、どこの工場からも同一製品を供給できるという優位性を持った「ハイ・タッチウォール」として、一般社団法人ハイタッチセンターが規格化しま した。
ハイ・タッチウォールは、宅地造成等規制法施行令第 14 条による国土交通大臣認定を取得した、宅地造成用のプレキャストL型擁壁です。

大地震（大規模地震動）とは

発生確率は低いが直下またはプレート境界で発生する地震を想定した高いレベルの地震動で、一般に震度 6～7 程度を想定しています。標準設計水平震度 k0=0.25 に地域係数 Z を乗じて求めます。

「宅地防災マニュアルの解説」より引用

特　長

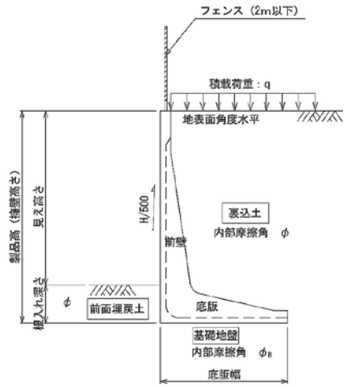
プレキャストL型擁壁の「ハイ・タッチウォール」は、以下のような特長を有しています。

- ●宅地擁壁で高さ5ｍまでの一体構造で大臣認定を受けたプレキャストL型擁壁です。
- ●設計水平震度は、大地震 kh＝0.25 用で対応しています。中地震 kh＝0.20 地区でも使用できます。
- ●現・国立研究開発法人建築研究所で耐震実験等を行い、地震時の挙動や耐力を解析し、その結果を反映した高品質・高 性能の製品です。
- ●大臣認定擁壁製造工場認証を受け、品質管理の徹底された工場で製造されます。
- ●全国各地の会員各社が統一した製品を供給する事ができます。
- ●前壁に化粧（デザイン）を施すことも可能なため、「個性」と「調和」を選ぶことができます。
- ●機械施工により省力化と工期の短縮が図れます。
- ●フェンスを擁壁天端に一体化して設置できます。
- ●前壁がほぼ垂直であるので宅地の有効利用ができます。
- ●擁壁背面の土質は、内部摩擦角がφ≧ 25°以上とφ≧ 30°以上の 2 種類から選定できます。
- ●擁壁背面の土の単位体積重量はγs ＝16～19kN/㎥の範囲に対応できます。
- ●製造工場は、ハイタッチセンターの会員として全国にネットワーク化されています。

ハイ・タッチウォール（耐震型）には 2 タイプあります。

【 HTタイプ（High-Touch Wall の HT）】
- ・裏込め土は、内部摩擦角がφ ≧ 30°の良質土が条件です。
- ・中地震及び大地震に同一の形状で対応可能です。
- ・基礎地盤は、内部摩擦角がϕ_B ≧ 30°の良質地盤が条件です。
- ・積載荷重は、10kN/㎡ 又は 15kN/㎡ に対応しています。

【 HWタイプ（High-Touch Wall の HW）】
- ・裏込め土は、内部摩擦角がφ ≧ 25°の土が条件です。
- ・中地震と大地震に対応するため、各々の規格の底版長です。
- ・製品高さ H が 3m を超え 4m 以下は、内部摩擦角がϕ_B ≧ 25°の基礎地盤が条件です。
- ・製品高さ H が 4m を超えるものは、内部摩擦角がϕ_B ≧ 30°の基礎地盤が条件です。
- ・積載荷重は、10kN/ ㎡ に対応しています。



※一般的な地盤用のＨＷタイプのφ ≧ 25°は、擁壁背面の「裏込め土」の内部摩擦角φと、擁壁底面下にある「基礎地盤」の内部摩擦角ϕ_B をϕ_B ≧ 25°とϕ_B ≧ 30°に分けていますのでご注意願います。

擁壁の基本条件

●HTタイプ：比較的良質地盤　裏込め土の内部摩擦角φ ≧ 30°

項目	長期	短期		
	常時	フェンス荷重時	中地震時	大地震時
地表面の勾配	LEVEL			
積載荷重（積雪荷重）	q＝ 10kN/m2 及び15kN/㎡（積雪荷重を含む）			
裏込め土の内部摩擦角 φ	φ ≧ 30°			
裏込め土の単位体積重量	γ_s ＝ 16 ～ 19kN/㎥			
基礎地盤の内部摩擦角 ϕ_B	ϕ_B ≧ 30°			
滑動摩擦係数	μ ＝ tanϕ_B（μ ≦ 0.6） ϕ_B ＝ 30°の場合μ ＝ 0.577			
必要根入れ深さ Df	岩盤に設置する場合を除き、Df ＝ 35cm以上かつ見え高さの15 ／ 100 以上			
安定計算用の壁面摩擦角（主働土圧）	δ＝φ ／ 2		δ＝φ	
安定計算用の壁面摩擦角（受働土圧）	—		δ＝0	
断面計算用の壁面摩擦角（主働土圧）	δ＝φ ／ 2		δ＝φ ／ 2	
地域係数 Z (注1)	—	—	1.0	
設計水平震度 kh	—	—	0.25	
設計鉛直震度 kv	—	—	Kv＝0	
土圧の算定式	クーロン		物部・岡部の式	
コンクリートの単位体積重量	γ_c ＝ 24.0kN/㎥			
フェンス荷重	作用高さ Hf＝ 1.10m　作用荷重 Pf＝ 1.0kN/m又は建設省告示第1454 号による風荷重			

●HWタイプ：一般的な地盤　裏込め土の内部摩擦角φ ≧ 25°

項目	長期	短期		
	常時	フェンス荷重時	中地震時	大地震時
地表面の勾配	LEVEL			
積載荷重（積雪荷重）	q＝ 10kN/㎡（積雪荷重を含む）			
裏込め土の内部摩擦角 φ	φ ≧ 25°			
裏込め土の単位体積重量	γ_s ＝ 16 ～ 19kN/㎥			
基礎地盤の内部摩擦角 φ (注2) $_B$	製品高さH　3.0m<　H　≦ 4.0m　ϕ_B ≧ 25° 製品高さH　4.0m<　H　≦ 5.0m　ϕ_B ≧ 30°			
滑動摩擦係数	μ ＝ tanϕ_B（μ ≦ 0.6） ϕ_B ＝ 25°の場合μ ＝ 0.466 ϕ_B ＝ 30°の場合 μ ＝ 0.577			
必要根入れ深さ Df	φ ≧ 25°の場合、Df＝ 45cm以上 かつ 見え高さの20 ／ 100 以上 φ ≧ 30°の場合、Df＝ 35cm以上 かつ 見え高さの15 ／ 100 以上			
安定計算用の壁面摩擦角（主働土圧）	δ＝φ ／ 2		δ＝φ	
安定計算用の壁面摩擦角（受働土圧）	—		δ＝0	
断面計算用の壁面摩擦角（主働土圧）	δ＝φ ／ 2		δ＝φ ／ 2	
地域係数 Z (注1)	—	—	1.0	
設計水平震度 kh	—	—	0.25	
設計鉛直震度 kv	—	—	Kv＝0	
土圧の算定式	クーロン		物部・岡部の式	
コンクリートの単位体積重量	γ_c ＝ 24.0kN/㎥			
フェンス荷重	作用高さ Hf＝ 1.10m　作用荷重 Pf＝ 1.0kN/m又は建設省告示第1454 号による風荷重			

（注1：建築基準法施行令第88条1項による地域係数
（注2：製品高さHが4000を超える場合は、基礎地盤の内部摩擦角ϕ_B ≧ 30°として下さい

設計条件と呼び名の対照表

●HTタイプ：比較的良質地盤　裏込め土の内部摩擦角φ ≧ 30°

HTタイプの諸条件	
裏込め土の土質	γ_s ＝ 16 ～ 19kN/㎥ φ ≧ 30°
積載荷重（積雪荷重含む）	q＝ 10kN/㎡ 又は q＝ 15kN/㎡
地震動のタイプ	HT Ⅲ 大地震 kh＝ 0.25
基礎地盤の土質	ϕ_B ≧ 30°
製品高さ H（mm）	呼び名 (注1)
3,250	HT3250
3,500	HT3500
3,750	HT3750
4,000	HT4000
4,250	HT4250
4,500	HT4500
4,750	HT4750
5,000	HT5000

（注1：HTタイプは、設計上 Ⅰ･Ⅱ･Ⅲ に分類していますが、形状・配筋が同一のため、呼び名を「HT」と統一しました。

●HWタイプ：一般的な地盤　裏込め土の内部摩擦角φ ≧ 25°

HWタイプの諸条件		
裏込め土の土質	γ_s ＝ 16 ～ 19kN/㎥ φ ≧ 25°	
積載荷重（積雪荷重含む）	q＝ 10kN/㎡	
地震動のタイプ	HW Ⅲ 大地震 kh＝ 0.25	
基礎地盤の土質 (注1)	ϕ_B ≧ 25°	ϕ_B ≧ 30°
製品高さ H（mm） (注2)	呼び名	
3,250	HW Ⅲ 3250	
3,500	HW Ⅲ 3500	
3,750	HW Ⅲ 3750	
4,000	HW Ⅲ 4000	
4,250	—	HW Ⅲ 4250
4,500	—	HW Ⅲ 4500
4,750	—	HW Ⅲ 4750
5,000	—	HW Ⅲ 5000

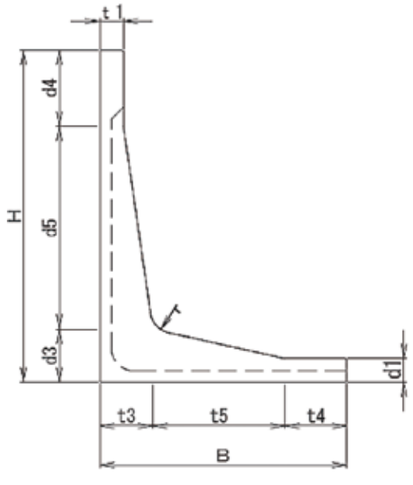
（注1：φ≧ 30°の場合の根入れ深さDf は、35cm以上かつ見え高さの15 ／100 以上とすることができます。
（注2：製品高さ3,250 ～ 4,000 までの規格は、ϕ_B ≧ 30°の場合でも使用することができます。

※HW Ⅰ、HW Ⅱ（設計水平震度kh=0.20）もございます。営業担当者にご相談ください。

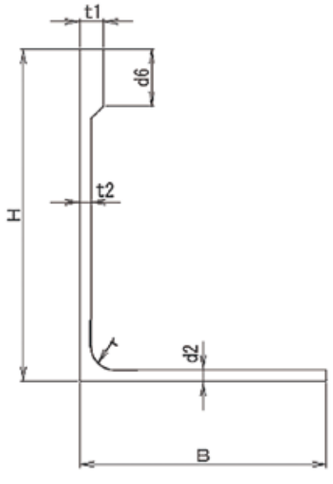
製品規格寸法

HTタイプ　φ≧ 30°

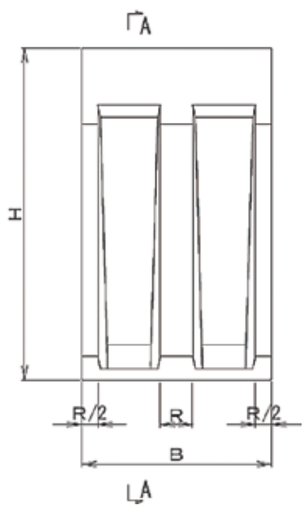
側面図



断面図 A-A



背面図



※上図は、HT タイプ及びHWタイプ兼用です。

●HTタイプ：比較的良質地盤　裏込め土の内部摩擦角φ ≧ 30° (注 2
設計水平震度：HT Ⅲ 大地震 kh＝ 0.25

呼び名(注1	製品高さ H	底版幅 B	R	t1	t2	t3	t4	t5	d1	d2	d3	d4	d5	d6	r	参考質量 (kg)
HT3250	3,250	2,250	340	250	120	560	300	1,390	250	120	560	550	2,140	350	250	5,870
HT3500	3,500	2,250	340	250	120	560	300	1,390	250	120	560	800	2,140	600	250	6,170
HT3750	3,750	2,500	350	250	120	625	300	1,575	250	125	625	550	2,575	350	250	7,220
HT4000	4,000	2,500	350	250	120	625	300	1,575	250	125	625	800	2,575	600	250	7,520
HT4250	4,250	2,800	390	250	130	670	350	1,780	300	130	670	750	2,830	350	300	9,080
HT4500	4,500	2,800	390	250	130	670	350	1,780	300	130	670	1,000	2,830	600	300	9,380
HT4750	4,750	3,000	390	250	130	735	350	1,915	300	130	735	750	3,265	350	300	10,610
HT5000	5,000	3,000	390	250	130	735	350	1,915	300	130	735	1,000	3,265	600	300	10,910

(注1：上記の呼び名においてHT Ⅲ 大地震は、HT Ⅰ 中地震、HT Ⅱ 大地震と形状・配筋が同一のため、呼び名を「HT」に統一しています。
(注2：基礎地盤の内部摩擦角がϕ_B ≧ 30°以上が必要です。

HWタイプ　φ≧ 25°

●HWタイプ：一般的な地盤　裏込め土の内部摩擦角φ ≧ 25° (注 1
設計水平震度：HW Ⅲ 大地震 kh＝ 0.25

呼び名	製品高さ H	底版幅 B	R	t1	t2	t3	t4	t5	d1	d2	d3	d4	d5	d6	r	参考質量 (kg)
HW Ⅲ 3250	3,250	2,600	340	250	120	560	650	1,390	250	120	560	550	2,140	350	250	6,150
HW Ⅲ 3500	3,500	2,600	340	250	120	560	650	1,390	250	120	560	800	2,140	600	250	6,450
HW Ⅲ 3750	3,750	2,900	350	250	120	625	700	1,575	250	125	625	550	2,575	350	250	7,550
HW Ⅲ 4000	4,000	2,900	350	250	120	625	700	1,575	250	125	625	800	2,575	600	250	7,850
HW Ⅲ 4250	4,250	3,000	390	250	130	670	550	1,780	300	130	670	750	2,830	350	300	9,270
HW Ⅲ 4500	4,500	3,000	390	250	130	670	550	1,780	300	130	670	1,000	2,830	600	300	9,570
HW Ⅲ 4750	4,750	3,000	390	250	130	735	350	1,915	300	130	735	750	3,265	350	300	10,610
HW Ⅲ 5000	5,000	3,000	390	250	130	735	350	1,915	300	130	735	1,000	3,265	600	300	10,910

(注1：基礎地盤の内部摩擦角ϕ_Bは以下のとおりです。
製品高さ3,000 を超え4,000 以下　ϕ_B ≧ 25°以上
製品高さ4,000 を超え5,000 以下　ϕ_B ≧ 30°以上が必要です。ご注意願います。

※HW Ⅰ、HW Ⅱ（設計水平震度kh=0.20）もございます。営業担当者にご相談ください。

基礎地盤の必要な許容応力度

●HTタイプ：比較的良質地盤　裏込め土の内部摩擦角φ ≧ 30°

HTタイプの諸条件		
裏込め土の土質	γ_s ＝ 16 ～ 19kN/㎥ φ ≧ 30°	
積載荷重（雪荷重含む）	q＝ 10kN/㎡	q＝ 15kN/㎡
地震動のタイプ	HT Ⅲ 大地震 kh＝ 0.25	
基礎地盤の土質	ϕ_B ≧ 30°	
呼び名(注1	基礎地盤の必要な許容応力度（kN/㎡）(注1(注2	
HT3250	150	160
HT3500	170	185
HT3750	170	185
HT4000	190	205
HT4250	190	205
HT4500	210	230
HT4750	220	235
HT5000	240	255

（注1：上記の呼び名においてHT Ⅲ 大地震は、HT Ⅰ 中地震、HT Ⅱ 大地震と形状・配筋が同一のため、呼び名を「HT」に統一しています。
（注2：大臣認定における標準品の許容応力度に「短尺」製品の増加分を考慮した「長期」の値です。
（注3：前壁に化粧（デザイン）を施す場合は10kN/㎡、フェンスを設置する場合は5kN/㎡を上記許容応力度に加算して下さい。

●HWタイプ：一般的な地盤　裏込め土の内部摩擦角φ ≧ 25°

HWタイプの諸条件		
裏込め土の土質	γ_s ＝ 16 ～ 19kN/㎥ φ ≧ 25°	
積載荷重（雪荷重含む）	q＝ 10kN/㎡	
地震動のタイプ	HWIII大地震 kh＝ 0.25	
基礎地盤の土質	ϕ_B ＝ 10kN/㎡	ϕ_B ＝ 15kN/㎡
呼び名	基礎地盤の必要な許容応力度（kN/㎡）(注1(注2	
HW Ⅲ 3250	145	
HW Ⅲ 3500	160	
HW Ⅲ 3750	165	
HW Ⅲ 4000	185	
HW Ⅲ 4250	—	195
HW Ⅲ 4500	—	220
HW Ⅲ 4750	—	240
HW Ⅲ 5000	—	270

（注1：大臣認定における標準品の許容応力度に「短尺」製品の増加分を考慮した「長期」の値です。
（注2：前壁に化粧（デザイン）を施す場合は10kN/㎡、フェンスを設置する場合は5kN/㎡を上記許容応力度に加算して下さい。

築造仕様

一般的注意事項

ハイ・タッチウォールは、重量構造物です。したがって、擁壁背面及び基礎地盤の土質条件により、施工方法が異なります ので、以下の事項に注意し確認して下さい。

①本擁壁は、設計載荷重の大きさ、地震時の水平震度、土質条件により、タイプが異なります。
　施工箇所の条件を十分把握し、適合するものを選定して下さい。

②基礎地盤の許容応力度は、規定されている値以上の支持力を確保して下さい。

③ HW タイプは、擁壁背面の「裏込め土」の内部摩擦角φ と、擁壁底面下にある「基礎地盤」の内部摩擦角ϕ_B を分けていますのでご確認下さい。

④ HW タイプにおいて「裏込め土」がφ ≧ 30°の場合又は岩盤の場合は、根入れ深さを浅くすることができます。

⑤排水側溝工事、のり面保護工事、山止め工事、杭地業工事、支持力増強のための地盤改良工事等については、宅地造成工 事の設計者及び施工者の責任のもと実施されるものとしています。

⑥隅角部は、現場打ちコンクリートで施工して下さい。

⑦擁壁前面は H/500 の勾配を有していますので、施工時に考慮して下さい。

根入れ深さ

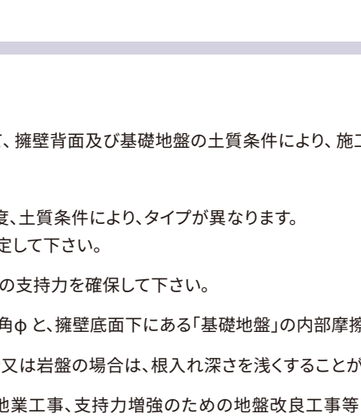
根入れの深さ Df は、宅地造成等規制法施行令第 8 条 4 項に則り、擁壁を岩盤に接着して設置する場合を除き次の通りとして下さい。

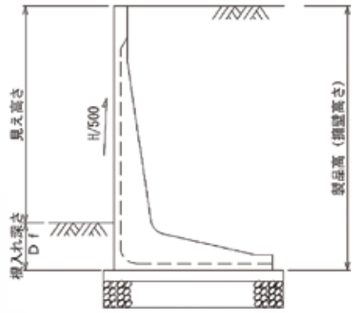
裏込め土	根入れ深さDf
φ ≧ 25°	Df＝ 45cm以上　かつ　見え高さの20 ／ 100 以上
φ ≧ 30°	Df＝ 35cm以上　かつ　見え高さの15 ／ 100 以上

（注：HTタイプはφ ≧ 30°限定になります。

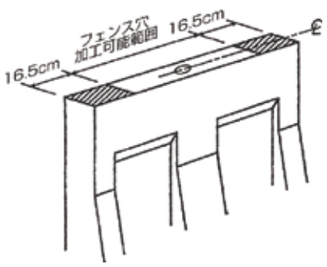
擁壁高さ H	根入れ深さDf（cm） 裏込め土の土質	
	φ ≧ 25°	φ ≧ 30°
3,250	55	43
3,500	59	46
3,750	63	49
4,000	67	53
4,250	71	56
4,500	75	59
4,750	80	62
5,000	84	66

（注：HTタイプはφ ≧ 30°限定になります。





根入れ深さDf

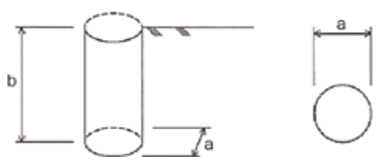


フェンスの取り扱い

①ハイ・タッチウォールにフェンスを取り付ける場合は、
　予め工場で天端にフェンス支柱を埋込む穴を配置します。

②フェンス支柱埋込み穴の深さは b＝25cm、断面の投影幅は a＝ 8cm 以下、
　支柱の設置位置は、擁壁の天端厚さの中心線上で ±5cm 以内の位置、
　かつ、擁壁両端から 16.5cm 以内の部分を除く範囲が可能です。

③フェンスの種類は、自重の小さいネットフェンス、歩道用の防護柵として下さい。



フェンスについて

施工例手順

基礎及び敷モルタルについて

①基礎材の厚さは、基礎コンクリート 10cm 以上、基礎砕石 20cm 以上として下さい。

②据付に際し、基礎コンクリート面と擁壁底版との間に隙間が生じないように、
厚さ 2cm 程度の良く締固められた敷モルタルで不陸を処理して下さい。

透水層について

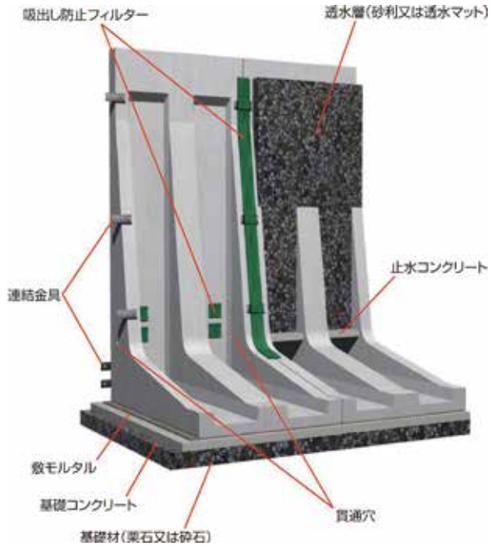
①たて壁の背面には、砂利又は宅地擁壁用透水マットによる透水層を設けて下さい。

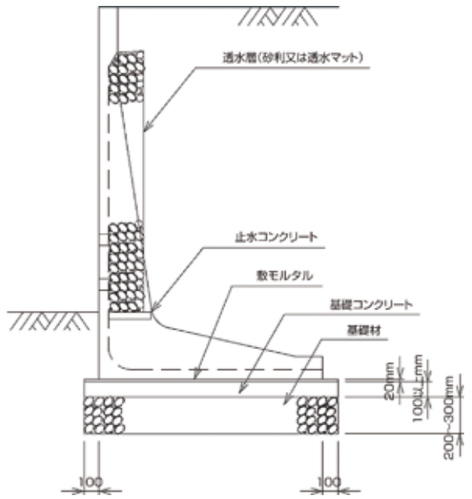
②擁壁背面の土砂が目地及び水抜穴から流出することを防止するために、耐食性の吸出し防止フィルターを設置して下さい。

③透水層の下部には止水コンクリートを設置して下さい。

施工フロー

01 根切り用遣り方の設置
▼
02 根切りの施工
▼
03 基礎地盤の許容応力度の確認
▼
04 基礎用遣り方の設置
▼
05 基礎工の施工
▼
06 据付用遣り方の設置
▼
07 敷モルタルの施工
▼
08 擁壁本体の設置
▼
09 目的及び透水層の施工
▼
10 擁壁背面の埋戻し
▼
11 裏込め土上面の仕上げ
▼
12 築造完了検査
▼
13 引渡し





施工歩掛

単位：10㎡当り

呼び名 HT			3250	3500	3750	4000	4250	4500	4750	5000
擁壁高さ:H		m	3.25	3.50	3.75	4.00	4.25	4.50	4.75	5.00
日当り施工量		m	30	24						
ハイ・タッチウォール		個	5							
世話役		人	0.33	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42
ブロック工		人	0.33	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42
普通作業員		人	1.00	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25	1.25
ラフテレーンクレーン賃料		日	0.33	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42	0.42
ラフテレーンクレーンの規格			25tf吊り				35tf吊り			
雑工種	基礎砕石	%	60				66			
	基礎コンクリート	%	74				108			
諸雑費		%	20	21	21	21	21	21	21	21

注1: 本歩掛は、「国土交通省土木工事積算基準　平成24 年度」を参考とし、ハイ・タッチウォール標準施工に適用されます。
注2: 現場条件により上表により難い場合は、別途考慮して下さい。
注3: 本歩掛は、運搬距離10m程度までの個運搬を含みますが、床付け工、埋戻し、残土処理は含みません。
注4: 雑工種は、労務費、賃料及び機械運転経費の合計に上表の率を乗じた金額を上限として計上します。
【基礎砕石】＝敷設、転圧労務、材料搬入、締固め機械運転経費、砕石等材料費。標準敷均し厚は、20cm以下標準とします。
【基礎コンクリート】＝打設、養生、型枠製作・設置・撤去労務、シュート・ホッパ・バイブレータ損料、コンクリート、養生材、型枠材料費。
注5: ラフテレーンクレーンは、設置場所とクレーンまでの作業半径等現場条件により、使用する大きさが異なる場合があります。

使用材料数量表

●HTタイプ：比較的良質地盤　裏込め土の内部摩擦角φ ≧ 30°　数量表

単位：10㎡当り

呼び名 HT			3250	3500	3750	4000	4250	4500	4750	5000
擁壁高さ:H		m	3.25	3.50	3.75	4.00	4.25	4.50	4.75	5.00
底版幅　:B		m	2.25	2.25	2.50	2.50	2.80	2.80	3.00	3.00
使用材料	基礎砕石	㎥	4.9	4.9	5.4	5.4	6.0	6.0	6.4	6.4
	基礎コンクリート	㎥	2.5	2.5	2.7	2.7	3.0	3.0	3.2	3.2
	基礎コンクリート型枠	㎡	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	敷モルタル(2cm厚)	㎥	0.5	0.5	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6
	止水コンクリート	㎥	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	止水コンクリート型枠	㎡	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
	透水層(砕石又は砂利)	㎥	4.6	5.0	5.2	5.6	5.8	6.2	6.3	6.8
	吸出し防止フィルター	㎡	3.9	4.1	4.3	4.6	4.8	5.1	5.3	5.5

●HWタイプ：一般的な地盤　裏込め土の内部摩擦角φ ≧ 25°　数量表

単位：10㎡当り

呼び名 HT			3250	3500	3750	4000	4250	4500	4750	5000
擁壁高さ:H		m	3.25	3.50	3.75	4.00	4.25	4.50	4.75	5.00
底版幅　:B		m	2.60	2.60	2.90	2.90	3.00	3.00	3.00	3.00
使用材料	基礎砕石	㎥	5.6	5.6	6.2	6.2	6.4	6.4	6.4	6.4
	基礎コンクリート	㎥	2.8	2.8	3.1	3.1	3.2	3.2	3.2	3.2
	基礎コンクリート型枠	㎡	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	敷モルタル(2cm厚)	㎥	0.5	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6
	止水コンクリート	㎥	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
	止水コンクリート型枠	㎡	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
	透水層(砕石又は砂利)	㎥	4.6	5.0	5.2	5.6	5.8	6.2	6.3	6.8
	吸出し防止フィルター	㎡	3.9	4.1	4.3	4.6	4.8	5.1	5.3	5.5